

## Press Release

Art Theater dB 神戸提携ダンス公演

2011.7.9 sat. – 10sun.  
at Art Theater dB Kobe

# 双子の未亡人

## Groundless - ground(s)

ダンサー／振付家としてモノクロームサーカスなどで  
幅広く活躍してきた荻野ちよ・佐伯有香によるダンスユニット  
双子の未亡人による最新作。

目的 - 無目的

世界 - 細部

コミュニケーション - 誤解も含めたコミュニケーション

出会う - すれ違う

コミュニケーションしようとするからだ／記憶の住処としての  
からだを如実に透写し、出会うことから展開される  
動きのコラージュで空間を満たします。

プログラムの詳細や広報用データはこちらへお問い合わせください。

**双子の未亡人** (佐伯有香)

〒604-0962 京都市中京区達磨町605 ネスト御所南3G

tel 090-9883-6051 e-mail [veuvesjumelles@hotmail.co.jp](mailto:veuvesjumelles@hotmail.co.jp)

URL <http://veuvesjumelles.com>



ダンスユニット「双子の未亡人」は、2011年7月、新長田にあるArt Theater dB Kobeとの提携により新作ダンス公演を初演いたします。

京都を拠点とする双子の未亡人は、コンテンポラリーダンスを基軸に、確かなダンステクニックと多岐にわたる表現方法を混在させ、観客とパフォーマーとの距離間を大胆／微細に伸縮させる特色を備えた作品製作をしてきました。時にサイトスペシフィックな空間においても尚、多様なスタイルにチャレンジし、フレキシブルな活動を発揮し、その根底にはシンプルに対話する身体そのものを浮彫りにさせること、そして変容し続けることへの欲求があります。

「浮遊する地／澱(おり)」と名付けた今作は、昨年ロクソドンタで発表した25分間の短編『norikoboreru'10』を見取り図に再構築した新作です。ダンサーの顔ぶれはそのままに、クリエイションメンバーとして新たに照明家の筆谷亮也が加わります。

前作では、情報がめまぐるしく更新・増殖し、パンクするのではないかという現代社会がもつ危機感の中、人が選択しにくいあげる事象は“氷山の一角にすぎない”。このシンプルなコンセプトのもと、イレコ状に組み込まれた劇場空間を現実世界への広がりとし、その一番核となる中心に据えられた半畳のスペースを社会において表面化する一部分に見立て、ダンサーの身体はその内部に侵入しようとするやいなや浮遊してしまう。このような空間構成の中で、様々な身体言語をもつダンサー達がそれぞれに違った出会い方をします。人々が集まる(出会う)こと自体に焦点を当てながらも、突如全体が野生化し、ときに秩序だてられていくことが、舞台という空間において社会を出現させる。そして、劇場にいる誰もが目撃者であり当事者であると体感せざるを得ない構成へと組み上げました。

今作では、前作での出会いを更に発展させ、ダンサー達それぞれが持つダンスへのルーツを掘り起し、その記憶をもとにコミュニケーション／誤解を含んだコミュニケーションを重ねながら作品へと紡いでいきます。各々の記憶のレイヤーに潜り込み、追想する／対話することで生じるズレや誤解も含めて交感し続けること、その細部に潜むコミュニケーションの根源的な美しさに耳／からだを傾け、身体での対話と出会いについて綴ろうと思えます。近年、オルタナティブにダンスを発信してきた双子の未亡人が、関西ダンスシーンの重要拠点であるArt Theater dB Kobeと提携し、60分を超える舞台作品を発表します。

## 開催概要

公演タイトル	Groundless-ground(s)
アーティスト名	双子の未亡人
日時	2011年7月9日[土] 19:00、10[日] 15:00
会場	Art Theater dB KOBE 〒653-0041 神戸市長田区久保町6丁目1番アスタくにつか4番館4階 TEL. 078-646-7044 e-mail. info@db-dancebox.org <a href="http://www.db-dancebox.org/">http://www.db-dancebox.org/</a>
演出・振付	双子の未亡人
出演	荻野ちよ、梶川貴弘、齋藤亮、佐伯有香、竹内英明、福井幸代
音響	山崎伸吾
照明	筆谷亮也
舞台監督	大田和司
コンセプトサポート	米田 量 (シェアハウスつる紫)
制作	ベ・スヒョン
印刷物デザイン	南 琢也
Webデザイン	柏田由香
協力	大藪もも、中村加工所、初音館スタジオ、米田 量 (シェアハウスつる紫) 京都の暑い夏事務局、モノクロームサーカス
料金	一般 前売り¥2500、当日¥3000 学生・ユース 前売り¥1800、当日¥2300
チケット発売日	5月9日[月]
お問い合わせ・お申込み	NPO法人 DANCE BOX TEL. 078-646-7044 e-mail. info@db-dancebox.org <a href="http://www.db-dancebox.org/">http://www.db-dancebox.org/</a>  双子の未亡人 TEL. 090-9883-6051(佐伯) e-mail. veuvesjumelles@hotmail.co.jp 特設ページ <a href="http://veuvesjumelles.com/g-gs">http://veuvesjumelles.com/g-gs</a>

## プロフィール

### 双子の未亡人

'03年より荻野ちよ・佐伯有香によるダンスユニットとして活動開始。と同時に、京都を拠点に国内外、多方面で活躍する Monochrome Circus のダンサー／振付家として経験を重ねる。'06『OFURO』“Park in Progress #3”滞在制作(仏)、『混浴』(京都)、'07『ノリコボレル』(大阪)、『norikoboreru'10』“畳半畳 in 大阪”など、劇場／野外／オルタナティブスペースにて作品を発表。『meeting in the forest』(“lisn”イメージ映像)、『サラエボ』(ボスニア)など映像表現にも従事し、今冬にはアニメーション作家とのコラボレーションによるビデオダンス作品を制作予定。

### 荻野ちよ

Monochrome Circus の代表作のひとつ“収穫祭”シリーズのほぼすべてに参加後、'06、'08 忠州国際アートパフォーマンスフェスティバル(韓国)、'07 “Pointe to Point vol.3”(ポーランド)、'09 “ZENSORS2009”(フィリピン)など、振付家としてソロ／コラボレーションの活動も行う。また妻有トリエンナーレ2012にむけ、'10-'12は小池芽英子(画家)との共同作品をまつだ農舞台「かまぼこアートセンター」にて製作中。

### 佐伯有香

'04年以降 Monochrome Circus 作品『Refined colors』で、タイ・シンガポール・フランス・スペイン・東欧諸国など海外ツアーに参加し国際的な舞台を踏む。昨年は dots 作品に参加、今年には doracom 作品への出演、黒子沙菜恵の振付によるソロ作品の発表を予定。またコンタクトインプロヴィゼーションや独自のダンスメソッドをふまえ、若手育成ダンスWSをはじめ、俳優や一般の方へのダンスクラスで講師もつとめるなど、多彩な活動を展開している。

### 筆谷亮也

空間演出家・照明家。2008年よりパフォーマンスアーツカンパニー dots に参加。同年、パリのルーブル美術館でのアートフェア PARISPHOTO では、『山口典子ケイタイガールマーチングプロジェクト』のディレクターとして参加する。dots の作品の他、川崎アートセンターでの滞在制作作品(森川弘和×青柳拓次)や、古いアパート1棟をまるまる使った作品『フワフープ』など、多くの作品に照明を担当すると同時にクリエイションメンバーとして参加している。

<http://idolatry.name/>

### 梶川貴弘

大学在学中に劇団を設立し代表を務める。脚本、演出を担当。京都を中心に多数の作品に出演。身体表現への興味からダンス分野にも活動の幅を広げる。現在、アトリエ劇研シニア劇団アシスタント講師、京西部いきいき市民活動センター高齢者ふれあいサロン常勤職員として文化活動による福祉と地域振興の活動に努めている。

### 齋藤亮

大学在学中にコンテンポラリーダンスと出会い、以降“踊りに行くぜ!! vol.10”(MOSTROとして舞鶴、伊丹)などで作品を上演。また、2008年まで男肉 duSoleil の活動に参加するほか、ダンサーとしてBABY-Qや村上和司などの作品に出演。現在、新世界ゴールデンファイナンスのパフォーマーとしても活動中。6月にロクソドンタブラック(大阪)でソロ作品を上演。

### 竹内英明

京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科舞台コース卒業。これまでに山田せつ子、桑折現、きたまり、杉原邦生、白井剛らの作品に出演。双子の未亡人の作品にはダンスの時間クリスマススペシャル“畳半畳 in 大阪”にて『norikoboreru'10』に出演し、今回が2度目の出演となる。

### 福井幸代

大学でインテリアデザインを専攻。空間、家具やものづくりに携り、「もの」を使う身体そのものに興味を持つ。コンタクトインプロヴィゼーションなどのWSを通してコンテンポラリーダンスに出会う。チョン・ヨンドゥ演出／振付作品『between』、瀬戸内国際芸術祭2010参加作品『直島劇場』に出演。東山青少年活動センター主催事業“ココロからダンスWS”にアシスタントとして参加。

## 作品 memo

生まれ出て なにかにふれて、  
じぶんの大きさや、じぶん以外のものをしていく  
そこには 名前があつて たくさんおぼえるうちに、  
わたしと  
あなたは  
こんなにもちがっていく。  
おなじものをみても おなじようにふれても。

セカイが「わたし」であつたとき、  
空間と自分とが ひとつであつたことを 思い出してみる。  
認識を繰り返すことで、わけてきた いろいろを  
自分の中に もう一度もどし つなげてみる。  
それが 不可能であつても。 まちがいで。

セカイに浮遊する 記憶の 澱を、  
拾い集め 重ねても 重ねても、たどり着けない(着かない)  
それでも 繰り返し、ためしてみる。  
それはおりかさなつて 感覚だけ のこして、  
名前も ないまま、次へとうけつがれる  
  
目的も もたないまま



